

(傍線部分は改正部分)

改正案

現行

【山口県医師確保計画】

1 基本的事項

- (略)
- なお、医師確保計画は、新たな地域医療構想の策定に向けた検討状況を踏まえ、必要に応じて医師確保の方針や取組へ反映します。
- また、本計画の進捗及び効果については、本章の各項に掲げる医師数、医師の養成・県内定着状況等の定量的な指標を、本計画の定量的な評価指標として定め、継続的に把握・評価し、評価結果については、地域医療対策協議会において協議し、必要に応じて施策の見直しを行うとともに、次期医師確保計画に反映します。

2 現状と課題

- 令和6年(2024年)医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の医師(医療施設従事者数)の実人員は、3,510人であり、人口10万人当たりの医師数は、274.0人で、全国中位(全国平均267.4人)となっています。
- 本県においては、若手医師の減少(平成10年(1998年)と比べて、令和6年(2024年)には8割程度の状況)などにより、医師の平均年齢は53.9歳と、全国で高い状況(全国平均50.6歳)です。
- こうした背景から、医師の性別、年齢を考慮した労働時間から算出した標準化医師数(厚生労働省算出)は、3,456.5人となっており、実人員より少ない評価となっています。
- (略)
- 女性医師は増加傾向にあり、平成10年(1998年)と令和6年(2024年)を比較すると305人増加しています。このため、子育て世代医師が安心して勤務を継続できる環境の整備を促進する必要があります。また、厳しい勤務環境にある勤務医の負担軽減が大きな課題です。

(略)

表1 医療施設従事医師数 (単位：人)

区分	H10(1998)	<u>R6(2024)</u>	増減数	増減率	人口10万対
山口県	3,218	<u>3,510</u>	<u>+292</u>	<u>+9.1%</u>	<u>274.0</u>
全国	236,933	<u>331,092</u>	<u>+94,159</u>	<u>+39.7%</u>	<u>267.4</u>

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

【山口県医師確保計画】

1 基本的事項

- (略)
- (新規)
- (新規)

2 現状と課題

- 令和2年(2020年)医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の医師(医療施設従事者数)の実人員は、3,491人であり、人口10万人当たりの医師数は、260.1人で、全国中位(全国平均256.6人)となっています。
- 本県においては、若手医師の減少(平成10年(1998年)と比べて、令和2年(2020年)には7割程度の状況)などにより、医師の平均年齢は53.3歳と、全国一高い状況(全国平均50.1歳)です。
- こうした背景から、医師の性別、年齢を考慮した労働時間から算出した標準化医師数(厚生労働省算出)は、3,442.1人となっており、実人員より少ない評価となっています。
- (略)
- 女性医師は増加傾向にあり、平成10年(1998年)と令和2年(2020年)を比較すると246人増加しています。このため、子育て世代医師が安心して勤務を継続できる環境の整備を促進する必要があります。また、厳しい勤務環境にある勤務医の負担軽減が大きな課題です。

(略)

表1 医療施設従事医師数 (単位：人)

区 分	H10(1998)	<u>R2(2020)</u>	増減数	増減率	人口10万対
山 口 県	3,218	<u>3,491</u>	<u>+273</u>	<u>+8.5%</u>	<u>260.1</u>
全 国	236,933	<u>323,700</u>	<u>+86,767</u>	<u>+36.6%</u>	<u>256.6</u>

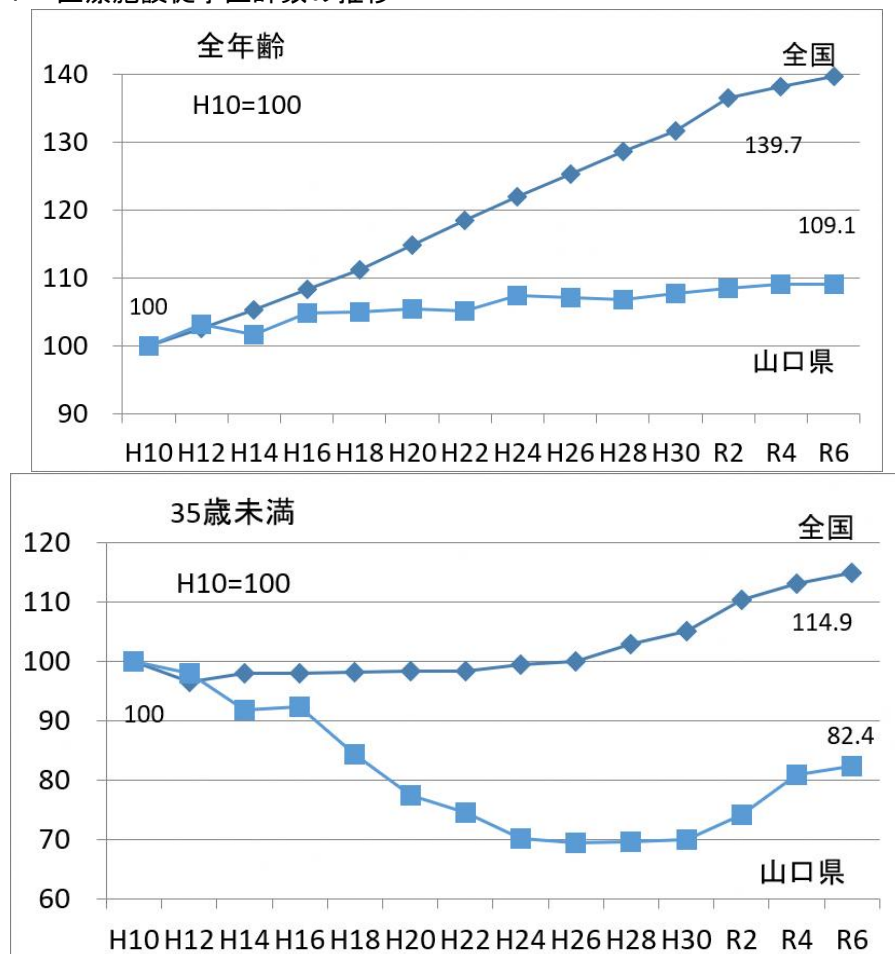
資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」厚生労働省

表2 医療施設従事医師に占める若手医師(35歳未満)の割合

区分	H10(1998)	R6(2024)	増減
山口県	22.1%	16.7%	△5.4%
全国	24.9%	20.4%	△4.5%

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

図1 医療施設従事医師数の推移



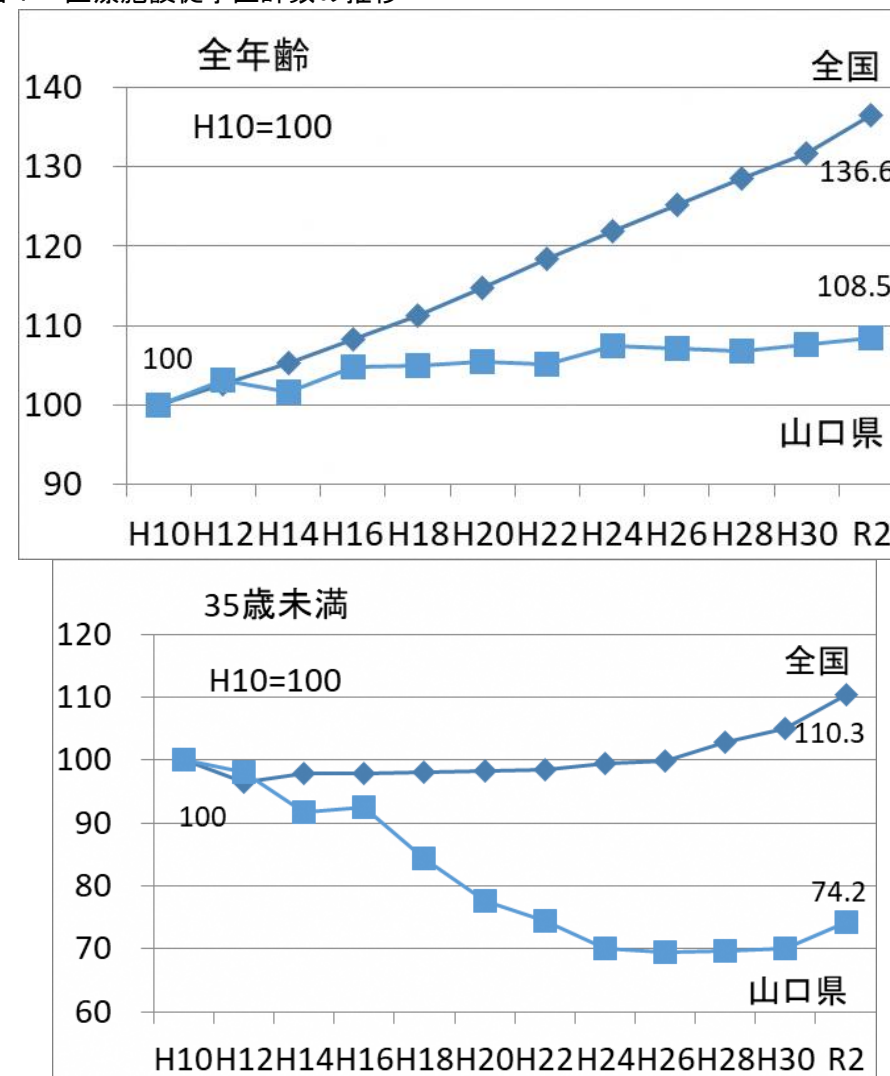
資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

表2 医療施設従事医師に占める若手医師(35歳未満)の割合

区分	H10(1998)	R2(2020)	増減
山口県	22.1%	15.1%	△7.0%
全国	24.9%	20.1%	△4.8%

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」厚生労働省

図1 医療施設従事医師数の推移



資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」厚生労働省

改正案

表3 二次保健医療圏別の医療施設従事医師数

(人口10万対 令和6年(2024年)12月末現在) (単位：人)

岩国	柳井	周南	山口・ 防府	宇部・ 小野田	下関	長門	萩	山口県
<u>229.2</u>	<u>210.0</u>	<u>230.0</u>	<u>235.7</u>	<u>413.5</u>	<u>293.5</u>	<u>222.4</u>	<u>192.7</u>	<u>274.0</u>

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

表4 医療施設従事女性医師数

(単位：人)

区分	山口県				全国			
	H10	<u>R6</u>	増減数	増減率	H10	<u>R6</u>	増減数	増減率
人数	374	<u>679</u>	<u>+305</u>	<u>+81.6%</u>	33,023	<u>80,792</u>	<u>+47,769</u>	<u>+144.7%</u>
割合	11.6%	<u>18.9%</u>	<u>+7.3%</u>	<u>+62.9%</u>	13.9%	<u>24.4%</u>	<u>+10.5%</u>	<u>+75.5%</u>

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

表5 主な診療科別の医療施設従事医師数

(人口10万対 令和6年(2024年)12月末現在) (単位：人)

診療科名	山口県A	全国B	A-B	順位	医師数(実数)
内科	<u>53.3</u>	<u>50.2</u>	<u>+ 3.1</u>	<u>23</u>	<u>683</u>
呼吸器内科	<u>4.8</u>	<u>5.9</u>	<u>△ 1.1</u>	<u>37</u>	<u>61</u>
循環器内科	<u>13.8</u>	<u>11.0</u>	<u>+ 2.8</u>	<u>7</u>	<u>177</u>
脳神経内科	<u>4.4</u>	<u>4.8</u>	<u>△ 0.4</u>	<u>23</u>	<u>56</u>
小児科	<u>119.6</u>	<u>130.2</u>	<u>△10.6</u>	<u>34</u>	<u>165</u>
外科	<u>17.3</u>	<u>10.0</u>	<u>+ 7.3</u>	<u>2</u>	<u>222</u>
脳神経外科	<u>8.1</u>	<u>6.1</u>	<u>+ 2.0</u>	7	<u>104</u>
整形外科	<u>20.9</u>	<u>18.3</u>	<u>+ 2.6</u>	<u>17</u>	<u>268</u>
産婦人科・産科	<u>51.4</u>	<u>50.0</u>	<u>+ 1.4</u>	<u>24</u>	<u>108</u>
麻酔科	<u>8.7</u>	<u>8.6</u>	<u>+ 0.1</u>	<u>22</u>	<u>111</u>
救急科	<u>2.7</u>	<u>3.3</u>	<u>△ 0.6</u>	<u>31</u>	<u>34</u>

(略)

現行

表3 二次保健医療圏別の医療施設従事医師数

(人口10万対 令和2年(2020年)12月末現在) (単位：人)

岩国	柳井	周南	山口・ 防府	宇部・ 小野田	下関	長門	萩	山口県
<u>220.5</u>	<u>204.5</u>	<u>209.7</u>	<u>232.2</u>	<u>401.8</u>	<u>265.8</u>	<u>172.2</u>	<u>195.0</u>	<u>260.1</u>

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」厚生労働省

表5 医療施設従事女性医師数

(単位：人)

区分	山口県				全国			
	H10	<u>R2</u>	増減数	増減率	H10	<u>R2</u>	増減数	増減率
人数	374	<u>620</u>	<u>+246</u>	<u>+65.8%</u>	33,023	<u>73,822</u>	<u>+40,799</u>	<u>+123.5%</u>
割合	11.6%	<u>17.8%</u>	<u>+6.2%</u>	<u>+53.4%</u>	13.9%	<u>22.8%</u>	<u>+8.9%</u>	<u>+64.0%</u>

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」厚生労働省

表4 主な診療科別の医療施設従事医師数

(人口10万対 令和2年(2020年)12月末現在) (単位：人)

診療科名	山口県A	全国B	A-B	順位	医師数(実数)
内科	<u>53.1</u>	<u>48.8</u>	<u>+4.3</u>	<u>22</u>	<u>713</u>
呼吸器内科	<u>3.9</u>	<u>5.3</u>	<u>△1.4</u>	<u>40</u>	<u>53</u>
循環器内科	<u>12.5</u>	<u>10.3</u>	<u>+2.2</u>	<u>9</u>	<u>168</u>
脳神経内科	<u>4.0</u>	<u>4.6</u>	<u>△0.6</u>	<u>28</u>	<u>54</u>
小児科	<u>119.0</u>	<u>119.7</u>	<u>△0.7</u>	<u>23</u>	<u>183</u>
外科	<u>16.8</u>	<u>10.5</u>	<u>+6.3</u>	<u>4</u>	<u>225</u>
脳神経外科	<u>7.3</u>	<u>5.8</u>	<u>+1.5</u>	7	<u>98</u>
整形外科	<u>19.1</u>	<u>17.9</u>	<u>+1.2</u>	<u>24</u>	<u>257</u>
産婦人科・産科	<u>51.1</u>	<u>46.7</u>	<u>+4.4</u>	<u>19</u>	<u>119</u>
麻酔科	<u>8.0</u>	<u>8.1</u>	<u>△0.1</u>	<u>25</u>	<u>108</u>
救急科	<u>1.9</u>	<u>3.1</u>	<u>△1.2</u>	<u>42</u>	<u>25</u>

(略)

改正案

表6 医師に関連する基礎データ1 (令和6年(2024年)12月末現在)

区 分	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩	山口県(計)
医師数	292人	144人	538人	710人	969人	707人	66人	84人	3,510人
(男女別)									
男性	242人	118人	447人	561人	745人	587人	56人	75人	2,831人
女性	50人	26人	91人	149人	224人	120人	10人	9人	679人
(年代別)									
20代	31人	6人	47人	63人	76人	67人	4人	1人	295人
30代	47人	16人	54人	61人	233人	78人	13人	12人	514人
40代	43人	22人	72人	129人	203人	104人	5人	8人	586人
50代	55人	35人	132人	173人	180人	156人	16人	20人	767人
60代	63人	40人	131人	169人	165人	161人	16人	27人	772人
70代	40人	21人	69人	92人	86人	102人	8人	13人	431人
80代以上	13人	4人	33人	23人	26人	39人	4人	3人	145人
平均年齢	53.4歳	56.5歳	56.0歳	55.0歳	50.1歳	55.2歳	56.0歳	58.3歳	53.9歳
(病院診療所別)									
病院医師	181人	91人	344人	431人	740人	446人	46人	44人	2,323人
診療所医師	111人	53人	194人	279人	229人	261人	20人	40人	1,187人
病院医師の占める割合	61.99%	63.19%	63.94%	60.70%	76.37%	63.08%	69.70%	52.38%	66.18%
人口※	127,394人	68,580人	233,948人	301,214人	234,349人	240,851人	29,679人	43,586人	1,281,000人
人口10万人当たり医師数	229.2人	210.0人	230.0人	235.7人	413.5人	293.5人	222.4人	192.7人	274.0人
1人の医師が担当地域人口	436人	476人	435人	424人	242人	341人	450人	519人	365人
標準化率 (2026年)	292.2人	142.8人	528.9人	705.1人	938.1人	693.7人	68.6人	87.0人	3,456.5人

(略)

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の調査票情報を利用し独自集計

厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

※山口県計の人口及び人口10万人当たり医師数は、総務省統計局「人口推計」、各二次保健医療圏の人口は山口県統計分析課「山口県人口移動統計調査」(いずれも2024年10月1日現在)

現行

表6 医師に関連する基礎データ1 (令和2年(2020年)12月末現在)

区 分	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩	山口県(計)
医師数	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人
(男女別)									
男性	259人	131人	434人	571人	776人	564人	52人	84人	2,871人
女性	39人	21人	76人	144人	213人	114人	4人	9人	620人
(年代別)									
20代	30人	4人	38人	72人	85人	57人	1人	1人	288人
30代	48人	17人	58人	66人	216人	64人	5人	13人	487人
40代	54人	24人	86人	147人	232人	129人	9人	14人	695人
50代	64人	41人	130人	159人	197人	135人	16人	22人	764人
60代	54人	42人	113人	169人	156人	175人	17人	24人	750人
70代	37人	19人	56人	80人	77人	94人	5人	14人	382人
80代以上	11人	5人	29人	22人	26人	24人	3人	5人	125人
平均年齢	52.5歳	56.6歳	55.3歳	53.9歳	49.7歳	55.2歳	57.5歳	57.2歳	53.3歳
(病院診療所別)									
病院医師	185人	94人	319人	457人	745人	410人	38人	50人	2,298人
診療所医師	113人	58人	191人	258人	244人	268人	18人	43人	1,193人
病院医師の占める割合	62.08%	61.84%	62.55%	63.92%	75.33%	60.47%	67.86%	53.76%	65.83%
人口(2020.10 国勢調査)	135,159人	74,336人	243,225人	307,945人	246,143人	255,051人	32,519人	47,681人	1,342,059人
人口10万人当たり医師数	220.5人	204.5人	209.7人	232.2人	401.8人	265.8人	172.2人	195.0人	260.1人
1人の医師が担当地域人口	454人	489人	477人	431人	249人	376人	581人	513人	384人
標準化医師数(2022年)	301.2人	151.5人	501.4人	713.3人	962.4人	659.9人	59.1人	93.3人	3,442.1人

(略)

(新規)

(新規)

(新規)

表7 医師に関連する基礎データ2 (令和6年(2024年)12月末現在)

区分	岩国	柳井	周南	山口 防府	宇部 小野田	下関	長門	萩	山口県(計)
医師数	292人	144人	538人	710人	969人	707人	66人	84人	3,510人
(療養診療科別)									
科	64人	29人	120人	135人	130人	161人	19人	25人	683人
呼吸器科	9人	2人	4人	10人	24人	12人			61人
循環器科	21人	6人	24人	32人	52人	32人	4人	6人	177人
消化器内科(胃腸内科)	16人	10人	22人	28人	68人	41人	2人	3人	190人
腎科	3人	1人	1人	11人	9人	15人			40人
神経科		8人	7人	11人	19人	11人			56人
糖尿病内科(代謝内科)	2人	1人	5人	15人	14人	9人	2人		48人
血液科		1人	6人	4人	4人	3人			18人
皮膚科	5人	7人	20人	19人	28人	23人	2人	2人	106人
アレルギー科									-
リウマチ科			3人	6人	4人	2人			15人
感染症科									-
小科	12人	3人	28人	39人	50人	26人	3人	4人	165人
精神科	15人	7人	28人	40人	62人	39人	5人	6人	202人
心療科				1人	1人	1人			3人
外科	20人	22人	32人	43人	55人	32人	6人	12人	222人
呼吸器外科			1人	3人	5人	5人			14人
心臓血管外科	4人		3人	6人	6人	9人			28人
乳腺外科		1人	3人	3人	4人	2人			13人
管食道外科					1人				1人
消化器外科(胃腸外科)	1人		5人	9人	29人	5人	1人		50人
泌尿器科	7人	6人	21人	20人	30人	20人	3人	2人	109人
肛門外科	1人		2人	1人	2人	1人	1人		8人
脳神経外科	9人	6人	17人	18人	34人	18人		2人	104人
整形外科	22人	10人	34人	68人	60人	59人	7人	8人	268人
形成外科	3人		2人	6人	2人	3人			16人
美容外科				1人		2人			3人
眼科	9人	6人	22人	28人	43人	22人	5人	4人	139人
耳鼻いんこ科	10人	2人	18人	22人	34人	17人	2人	2人	107人
小児外科				3人					3人
産婦人科	5人	3人	19人	23人	31人	19人	3人	2人	105人
産科	1人		1人	1人					3人
婦人科	4人		3人	3人	4人	1人			15人
リハビリテーション科	3人	1人	8人	3人	3人	8人		2人	28人
放射線科	4人	2人	14人	15人	39人	10人	1人	3人	88人
麻科	9人	2人	15人	21人	45人	19人			111人
病理診療科	2人	1人		1人	2人	6人			12人
臨床査科		1人	2人	2人	2人				7人
救急科	2人		6人	5人	18人	3人			34人
集中治療科				1人	3人				4人
臨床研修医	20人	3人	35人	43人	29人	62人			192人
全科						2人			2人
その他	6人		6人	5人	23人	7人		1人	48人
不詳	3人	3人	1人	5人					12人

表7 医師に関連する基礎データ2 (令和2年(2020年)12月末現在)

区分	岩国	柳井	周南	山口 防府	宇部 小野田	下関	長門	萩	山口県(計)
医師数	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人
(療養診療科別)									
科	72人	40人	111人	150人	136人	163人	13人	28人	713人
呼吸器科	10人	1人	1人	5人	27人	9人			53人
循環器科	15人	6人	23人	30人	48人	34人	6人	6人	168人
消化器内科(胃腸内科)	16人	10人	25人	28人	71人	32人	4人	3人	189人
腎科	1人		1人	10人	6人	11人			29人
神経科		7人	5人	11人	22人	9人			54人
糖尿病内科(代謝内科)	1人	2人	6人	10人	19人	5人	1人		44人
血液科	1人	1人	5人	4人	9人	4人	1人		25人
皮膚科	4人	3人	19人	19人	34人	21人		2人	102人
アレルギー科						1人			1人
リウマチ科			1人	3人	4人	1人			9人
感染症科									人
小科	17人	5人	30人	42人	53人	29人	3人	4人	183人
精神科	16人	9人	27人	37人	57人	41人	4人	6人	197人
心療科	1人			1人					2人
外科	18人	25人	33人	46人	49人	33人	7人	14人	225人
呼吸器外科				2人	9人	8人			19人
心臓血管外科	4人		2人	5人	12人	9人			32人
乳腺外科		1人	3人	4人	2人	3人			13人
管食道外科									人
消化器外科(胃腸外科)	1人	1人	2人	9人	36人	6人			55人
泌尿器科	8人	5人	14人	18人	34人	20人	3人	1人	103人
肛門外科	1人			2人	2人	1人	1人		7人
脳神経外科	10人	5人	17人	21人	27人	16人		2人	98人
整形外科	21人	10人	35人	62人	60人	53人	5人	11人	257人
形成外科	2人		1人	6人	3人	2人			14人
美容外科						1人			1人
眼科	9人	6人	23人	26人	38人	26人	4人	4人	136人
耳鼻いんこ科	10人	2人	18人	25人	35人	17人	1人	3人	111人
小児外科				3人	2人	1人			6人
産婦人科	5人	3人	22人	28人	33人	20人	2人	2人	115人
産科	1人		1人	1人	1人				4人
婦人科	5人	1人	2人	1人	3人				12人
リハビリテーション科	2人	1人	8人	4人	3人	10人		3人	31人
放射線科	6人	1人	12人	13人	44人	12人	1人	4人	93人
麻科	7人	2人	14人	21人	46人	18人			108人
病理診療科	2人	1人	1人	1人	3人	6人			14人
臨床査科			2人	2人	2人				6人
救急科	2人		3人	3人	16人	1人			25人
臨床研修医	21人	2人	34人	51人	26人	48人			182人
全科				1人					1人
その他	7人	1人	3人	7人	14人	7人			39人
不詳	2人	1人	6人	3人	3人				15人

(略)

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の調査票情報を利用し独自集計

3 医師少数区域、医師多数区域等

(1) 医師偏在指標

(略)

なお、全国平均は、266.8となっており、本県において全国平均を超えるのは、宇部・小野田保健医療圏のみとなっています。

表 8 医師偏在指標

区 分	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩	山口県
医師偏在指標	224.7	168.3	197.1	233.8	325.2	249.2	189.2	177.3	241.1
全国順位	129位	276位	209位	114位	31位	88位	227位	257位	33位
		下位33.3%			上位33.3%	上位33.3%	下位33.3%	下位33.3%	下位33.3%

(参考)

実医師数	292人	144人	538人	710人	969人	707人	66人	84人	3,510人
標準化医師数	292.2人	142.8人	528.9人	705.1人	938.1人	693.7人	68.6人	87.0人	3,456.5人

注)二次医療圏は、全国に330医療圏があり、全国順位は、数値の高い順に並べたものである。

(参考)全国平均

区 分	全国
医師偏在指標	266.8
実医師数	331,092人

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

(2) 医師少数区域、医師多数区域等の設定

(略)

(略)

(新規)

3 医師少数区域、医師多数区域等

(1) 医師偏在指標

(略)

なお、全国平均は、255.6となっており、本県において全国平均を超えるのは、宇部・小野田保健医療圏のみとなっています。

表 8 医師偏在指標

区 分	岩国	柳井	周南	山口 防府	宇部 小野田	下関	長門	萩	山口県
医師偏在指標	223.9	143.5	192.1	223.4	324.2	224.3	139.5	183.5	228.0
全順位	99位	304位	186位	100位	29位	98位	311位	209位	32位
	上位33%	下位33%		上位33%	上位33%	上位33%	下位33%		下位33%

(参考)

実医師数	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人
標準化医師数	301.2人	151.5人	501.4人	713.3人	962.4人	659.9人	59.1人	93.3人	3,442.1人

注)二次医療圏は、全国に330医療圏があり、全国順位は、数値の高い順に並べたものである。

(参考)全国平均

区 分	全国
医師偏在指標	255.6
実医師数	323,700人

(新規)

資料：厚生労働省提供データ(令和5年(2023年))

(2) 医師少数区域、医師多数区域等の設定

(略)

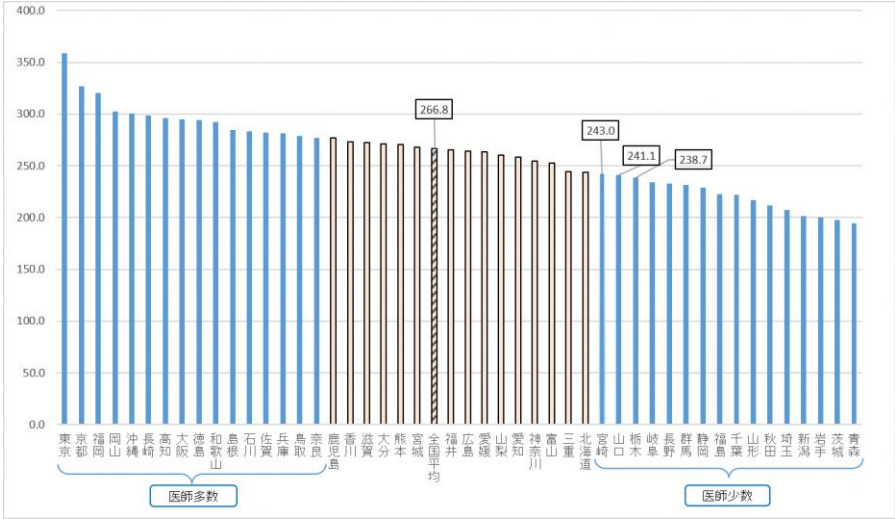
改正案

○ 国から示された医師偏在指標では、本県は全国33位となり、医師少数県とされています。

(略)

区分	二次保健医療圏	
医師少数区域	<u>3圏域</u>	柳井、長門、 <u>萩</u>
医師多数区域	<u>2圏域</u>	宇部・小野田、下関 ※医師偏在指標が、全国平均を超えるのは、 宇部・小野田保健医療圏のみ
上記のいずれにも該当しない区域	<u>3圏域</u>	<u>岩国</u> 、周南、 <u>山口・防府</u>

図2 都道府県別の医師偏在指標



資料：厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

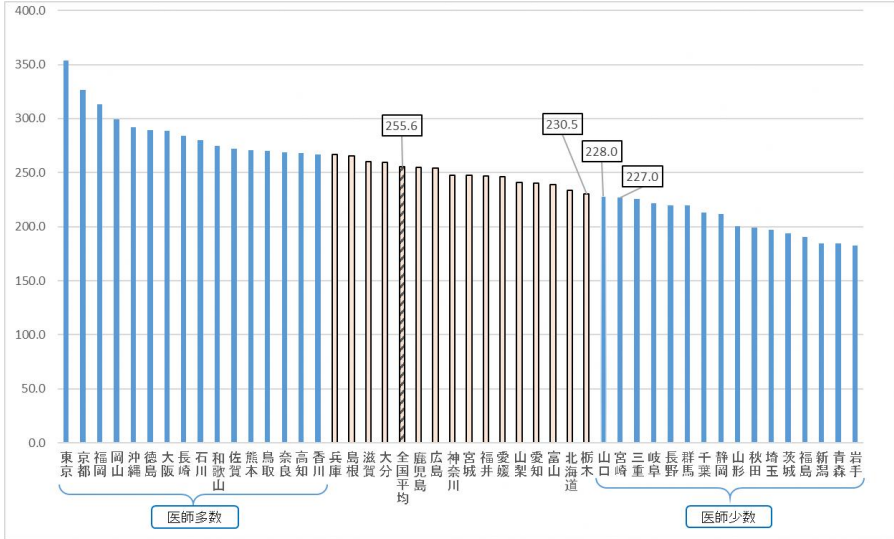
現行

○ 国から示された医師偏在指標では、本県は全国32位となり、医師少数県とされています。

(略)

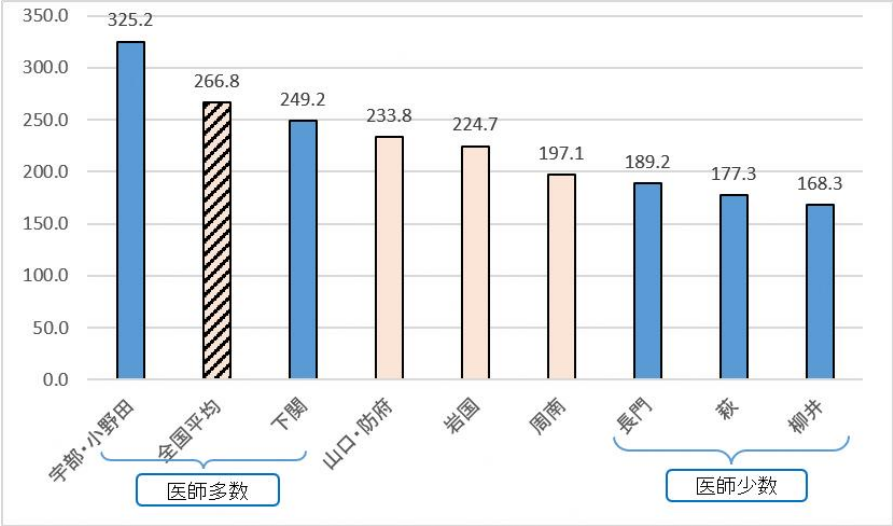
区分	二次保健医療圏	
医師少数区域	<u>2圏域</u>	柳井、長門
医師多数区域	<u>4圏域</u>	岩国、山口・防府、宇部・小野田、下関 ※医師偏在指標が、全国平均を超えるのは、 宇部・小野田保健医療圏のみ
上記のいずれにも該当しない区域	<u>2圏域</u>	周南、 <u>萩</u>

図2 都道府県別の医師偏在指標



資料：厚生労働省提供データ(令和5年(2023年))

図3 二次保健医療圏別の医師偏在指標



資料：厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

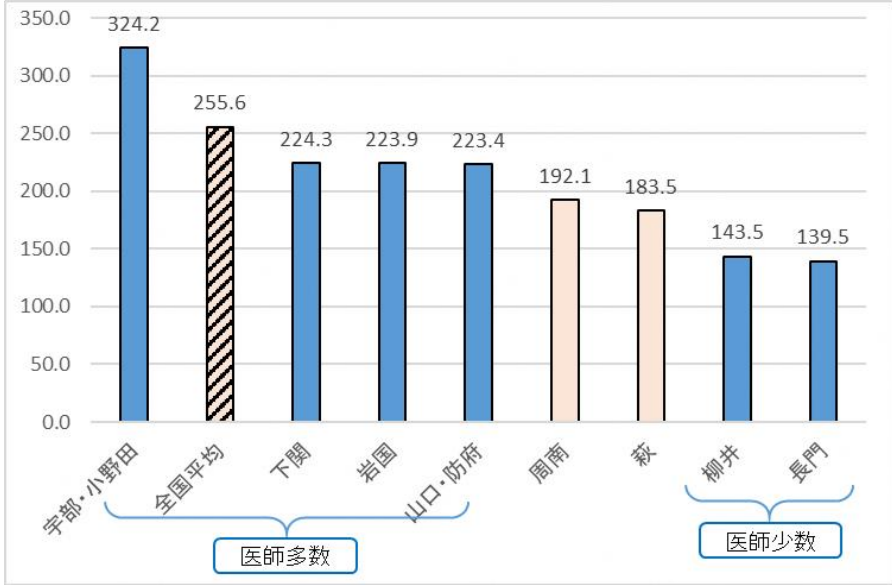
(3) 医師少数スポット

- 医師確保計画は、二次医療圏ごとに設定された医師少数区域及び医師少数都道府県、また重点医師偏在対策支援区域の医師の確保を重点的に推進するものですが、実際の医師偏在対策の実施に当たっては、より細かい地域の医療ニーズに応じた対策も必要となる場合があります。

(略)

二次保健医療圏	医師少数スポット	過疎地域病院
岩国	岩国市における旧美和町地域	・岩国市立美和病院
宇部・小野田	美祢市全域	・美祢市立病院 ・美祢市立美東病院
下関	下関市における旧豊田町地域及び旧豊浦町地域	・下関市立豊田中央病院 ・済生会豊浦病院

図3 二次保健医療圏別の医師偏在指標



資料：厚生労働省提供データ(令和5年(2023年))

(3) 医師少数スポット

- 医師確保計画は、二次医療圏ごとに設定された医師少数区域及び医師少数都道府県の医師の確保を重点的に推進するものですが、実際の医師偏在対策の実施に当たっては、より細かい地域の医療ニーズに応じた対策も必要となる場合があります。

(略)

二次保健医療圏	医師少数スポット	過疎地域病院
岩国	岩国市における旧錦町地域及び旧美和町地域	・岩国市立錦中央病院 ・岩国市立美和病院
宇部・小野田	美祢市全域	・美祢市立病院 ・美祢市立美東病院
下関	下関市における旧豊田町地域及び旧豊浦町地域	・下関市立豊田中央病院 ・済生会豊浦病院
萩	萩市全域	・萩市民病院

表9 医師少数スポットの医師数(令和6年(2024年)12月末現在)

区分	旧美和町	美祢市全域	旧豊田町	旧豊浦町
医師数	6人	39人	6人	38人
男女別)				
男性	5人	36人	5人	34人
女性	1人	3人	1人	4人
年代別)				
20代	1人			2人
30代	1人	5人	2人	2人
40代	1人	5人		5人
50代		6人	1人	4人
60代	2人	12人	1人	13人
70代	1人	8人	1人	8人
80代以上		3人	1人	4人
平均年齢	50.7歳	60.6歳	54.3歳	61.4歳
人口※	3,232人	20,784人	4,305人	15,367人
人口10万人当たり医師数	185.6人	187.6人	139.4人	247.3人
1人の医師が担う地域人口	539人	533人	718人	404人

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の調査票情報を利用し独自集計

※旧美和町の人口は岩国市政策企画課「いわくにの人口（令和6年10月1日現在）」、
美祢市の人口は山口県統計分析課「人口推計（2024年（令和6年）10月1日現在）」、旧豊田町と旧豊浦町の人口は下関市総務課「地区別の人口と世帯数（令和6年9月末現在）」下関市総務課

4 医師確保の方針

(1) 県全体

- 本県は医師偏在指標において医師少数県に該当し、また、本県医師の平均年齢は全国で二番目に高く、医師全体に占める若手医師の割合が低くなっています。
- 令和6年(2024年)4月から適用され、た医師の時間外・休日労働時間の上限規制や、年々増加する女性医師の割合などを踏まえ、医師を取り巻く勤務環境の改善に努める必要があります。

(略)

(2) 医師少数区域（柳井、長門、萩保健医療圏）

(略)

(3) 医師多数区域（宇部・小野田、下関保健医療圏）

(新規)

(新規)

(新規)

(新規)

4 医師確保の方針

(1) 県全体

- 本県は医師偏在指標において医師少数県に該当し、また、本県医師の平均年齢は全国一高く、医師全体に占める若手医師の割合が低くなっています。
- 令和6年(2024年)4月から適用される、医師の時間外・休日労働時間の上限規制や、年々増加する女性医師の割合などを踏まえ、医師を取り巻く勤務環境の改善に努める必要があります。

(略)

(2) 医師少数区域（柳井、長門保健医療圏）

(略)

(3) 医師多数区域（岩国、山口・防府、宇部・小野田、下関保健医療圏）

- (略)
- (4) 医師少数区域・医師多数区域のいずれにも該当しない区域（岩国、周南、山口・防府保健医療圏）
- (略)
- (5) 医師少数スポット
- (略)

【医師養成・県内定着の状況】

表10 医籍登録3～5年目の医師の動向（令和6年度）

① 山口県出身者の進学生

進学先	人数	割合
山口大学	114	48%
他県大学	123	52%
計	237	100%

② 山口大学卒業医師の出身地・従事先

出身地	自県従事	他県従事	計
山口県地元	86	28	114
他県地元	27	147	174
計	113	175	288

③ 山口県従事医師の卒業大学

卒業大学	人数	割合
山口大学	113	62%
他県大学	69	38%
計	182	100%

資料：厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

- (略)
- (4) 医師少数区域・医師多数区域のいずれにも該当しない区域（周南、萩保健医療圏）
- (略)
- (5) 医師少数スポット
- (略)
- (新規)
- (新規)

(新規)

表11 臨床研修修了後の医師の定着状況

	出身大学		出身		研修修了後 県内勤務	定着率
R5	山口大学	52	県内	34	30	88.2%
			県外	18	12	66.7%
	他の大学	48	県内	12	8	66.7%
			県外	36	5	13.9%
	計	100		100	55	55.0%
R6	山口大学	67	県内	34	32	94.1%
			県外	33	19	57.6%
	他の大学	37	県内	11	4	36.4%
			県外	26	4	15.4%
	計	104		104	59	56.7%
R7	山口大学	51	県内	35	34	97.1%
			県外	16	12	75.0%
	他の大学	33	県内	9	8	88.9%
			県外	24	2	8.3%
	計	84		84	56	66.7%

資料：山口県医師臨床研修推進センター調査

5 目標医師数

【第8次（前期）医師確保計画の評価】

第8次（前期）医師確保計画では、県全体及び二次保健医療圏ごとに目標医師数を設定し、医師確保対策を進めてきました。令和6年（2024年）の実医師数は県全体で3,510人であり、令和8年（2026年）の目標医師数3,519人を9人下回っています。

特に、医師少数区域では、柳井保健医療圏において目標医師数を下回っており、引き続き重点的な医師確保が必要です。一方、長門保健医療圏では、現時点において目標医師数と同数を確保しています。

こうした状況を踏まえ、後期計画では、医師少数区域等への医師の効果的な配置、若手医師の確保・県内定着等の取組を引き続き推進します。

○ 令和6年度（2024年度）から令和8年度（2026年度）までの3年間において、「山口県医師確保計画」に基づき、医師確保の取組を進めています。

（新規）

5 目標医師数

（新規）

（新規）

（新規）

（新規）

○ 令和2年度（2020年度）から令和5年度（2023年度）までの4年間において、「山口県医師確保計画」に基づき、医師確保の取組を進めています。

○ 県全体で見ると、令和8年(2026年)の目標医師数を若干下回っており、引き続き必要な医師の確保を目指します。特に医師の確保が必要と位置付けている医師少数区域である柳井、長門の各二次保健医療圏において重点的に医師確保に取り組みとともに、その他の二次保健医療圏については、令和2年(2020年)と同数の医師を引き続き確保することを目指しています。

表12 山口県医師確保計画(R6～R8)での目標医師数及び実医師数推移

区分	岩国	柳井	周南	山口 徳府	宇部 小野田	下関	長門	萩	山口県
実医師数)									
令和2年(2020年)	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人
令和4年(2022年)	299人	145人	523人	707人	990人	687人	66人	91人	3,508人
令和6年(2024年)	292人	144人	538人	710人	969人	707人	66人	84人	3,510人
令和8年(2026年) 目標医師数	298人	170人	510人	715人	989人	678人	66人	93人	3,519人

- (略)
- (1) 県全体
- 令和11年度(2029年度)までに、県全体で3,517人の確保を目指します。
 - なお、より長期的な目標として、国から示された令和18年(2036年)の本県の必要医師数である3,570人を目指します。
- (2) 医師少数区域
- 医師少数区域は、令和11年度(2029年度)までに、計画開始時点における全国の二次医療圏の下位33.3%に相当する医師偏在指標に達するために必要な医師数の確保を目指します。
 - 計画開始時点における全国の二次医療圏の下位33.3%に相当する医師偏在指標に達するために必要な医師数が令和6年(2024年)の実医師数を下回る場合は、令和6年(2024年)と同数の医師を引き続き確保することを目指します。
- (3) 医師少数区域以外の区域
- 医師少数区域以外は、「令和11年度(2029年度)まで、将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保のために必要な医師数を維持する」観点から、令和6年(2024年)と同数の医師を引き続き確保することを目指します。

○ 県全体で見ると、令和5年(2023年)の目標医師数を既に上回っていますが、特に医師の確保が必要と位置付けている医師少数区域である柳井、長門、萩の各二次保健医療圏及び具体的な目標医師数を定めていないその他の二次保健医療圏において、引き続き必要な医師の確保を目指しています。

表9 山口県医師確保計画(R2～R5)での目標医師数及び実医師数推移

区分	岩国	柳井	周南	山口 徳府	宇部 小野田	下関	長門	萩	山口県
実医師数)									
平成28年(2016年)	288人	162人	497人	668人	971人	697人	62人	91人	3,436人
平成30年(2018年)	299人	165人	501人	693人	966人	689人	59人	93人	3,465人
令和2年(2020年)	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人
令和5年(2023年) 目標医師数	-	181人	-	-	-	-	72人	97人	3,483人

注) 医師少数区域以外の二次保健医療圏では、具体的な目標医師数を定めていない。

- (略)
- (1) 県全体
- 令和8年度(2026年度)までに、県全体で3,519人の確保を目指します。
 - なお、より長期的な目標として、国から示された令和18年(2036年)の本県の必要医師数である3,650人を目指します。
- (2) 医師少数区域
- 医師少数区域は、令和8年度(2026年度)までに、計画開始時点における全国の二次医療圏の下位33.3%に相当する医師偏在指標に達するために必要な医師数の確保を目指します。
- (新規)
- (3) 医師少数区域以外の区域
- 医師少数区域以外は、「令和8年度(2026年度)まで、将来にわたる持続的な地域医療提供体制の確保のために必要な医師数を維持する」観点から、令和2年度(2020年度)と同数の医師を引き続き確保することを目指します。

表13 目標医師数

区分	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩	山口県
令和11年(2029年) 目標医師数	292人	150人	538人	710人	969人	707人	66人	85人	3,517人
参考)									
令和6年(2024年) 実医師数	292人	144人	538人	710人	969人	707人	66人	84人	3,510人

6 施策

(略)

(1) 医師少数区域等への医師の効果的な配置

(略)

表14 地域枠医師の勤務開始年(推計) (単位：人)

勤務開始年	～R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	計
緊急医師確保対策枠	36	4	6	5	5	5	5	5	5	5	81
地域医療再生枠	66	8	9	10	8	14	8	12	10	10	155
重点医師確保対策枠							2	2	2	2	8
特定診療科枠・外科枠	55	2	2		1	1	4	1	1		67
県外医学生支援枠	4		1								5
旧地域枠	13										13
小計	174	14	18	15	14	20	19	20	18	17	329
自治医科大学卒業医師	95	1	4	2	2	2	4	2	3	2	117

資料：県医療政策課調査(令和9年(2027年)2月現在)※暫定

(2) 本県医療を担う医師・医学生の確保

① 医師修学資金の貸付

(略)

表10 目標医師数

区分	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩	山口県
令和8年(2026年) 目標医師数	298人	170人	510人	715人	989人	678人	66人	93人	3,519人
参考)									
令和2年(2020年) 実医師数	298人	152人	510人	715人	989人	678人	56人	93人	3,491人

6 施策

(略)

(1) 医師少数区域等への医師の効果的な配置

(略)

表11 地域枠医師の勤務開始年(推計) (単位：人)

勤務開始年	～R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	計
緊急医師確保対策枠	21	5	5	8	5	5	5	5	5	5	69
地域医療再生枠	40	9	6	13	8	10	10	10	11	10	127
重点医師確保対策枠										2	2
特定診療科枠・外科枠	47	1	5	3	2	2			1	1	62
県外医学生支援枠	1	2	1			1					5
旧地域枠	13										13
小計	122	17	17	24	15	18	15	15	17	18	278
自治医科大学卒業医師	88	4	2	3	1	4	2	2	3	3	112

資料：県医療政策課調査(令和6年(2024年)2月現在)

(2) 本県医療を担う医師・医学生の確保

① 医師修学資金の貸付

(略)

改正案

表15 山口県医師修学資金の概要(令和8年度(2026年度)募集分)

区分・対象者	貸付金額	貸付期間	貸付枠	返還義務免除条件
緊急医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「緊急医師確保対策枠」入学者	月額 20万円	6年	5人	9年間(うち4年間は過疎地域の病院)、知事指定医療機関に医師として勤務
地域医療再生枠 山口大学医学部推薦入試 「地域医療再生枠」入学者	月額 15万円	6年	10人	9年間、知事指定医療機関に医師として勤務
重点医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「重点医師確保対策枠」入学者	月額 15万円	6年	2人	9年間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科、 <u>膠原病内科、腎臓内科</u>)の医師として勤務
特定診療科枠・外科枠 県内出身の医学生(1～6年生)	月額 15万円	6年以内	8人	貸付期間の1.5倍の期間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科、 <u>膠原病内科、腎臓内科</u>)の医師として勤務

② 山口大学医学部における地域枠の設置

大学との連携の取組を進めるとともに、国から臨時定員から恒久定員への移行を基本とする方針が示されたことを踏まえ、地域枠の在り方について検討を進めることとします。

現行

表12 山口県医師修学資金の概要(令和5年度(2023年度)募集分)

区分・対象者	貸付金額	貸付期間	貸付枠	返還義務免除条件
緊急医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「緊急医師確保対策枠」入学者	月額 20万円	6年	5人	9年間(うち4年間は過疎地域の病院)、知事指定医療機関に医師として勤務
地域医療再生枠 山口大学医学部推薦入試 「地域医療再生枠」入学者	月額 15万円	6年	10人	9年間、知事指定医療機関に医師として勤務
重点医師確保対策枠 山口大学医学部推薦入試 「重点医師確保対策枠」入学者	月額 15万円	6年	2人	9年間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科)の医師として勤務
特定診療科枠・外科枠 県内出身の医学生 (1～6年生)	月額 15万円	6年以内	8人	貸付期間の1.5倍の期間、知事指定医療機関に特定診療科(小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、放射線治療科、病理診断科、呼吸器内科、総合診療科、外科)の医師として勤務

② 山口大学医学部における地域枠の設置・増員

大学が独自に設定している「地域枠(県医師修学資金貸与と連動しない医学部推薦入試)」はこれまで随時増員されてきたところですが、今後、国により示される医学部臨時定員(修学資金貸与の3枠)の在り方を踏まえ、維持・増員を検討します。

表16 山口大学医学部入学定員の推移 (単位：人)

年度		H18 (2006)	H19 (2007)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H28 (2016)	R2 (2020)	R5 (2023)
定員 (A+B+C)		95	95	105	114	117	117	117	119
内 訳	A一般入試	75	65	70	66	67	70	65	65
	うち後期日程：地域枠（県内出身者に限る）							3	3
	B推薦入試	10	20	25	38	40	37	42	44
	全国枠	10	10	10	10	10	7	5	5
	地域枠（県内出身者に限る）		10	10	15	15	15	22	22
	緊急医師確保対策枠（※）			5	5	5	5	5	5
	地域医療再生枠（※）				8	10	10	10	10
	重点医師確保対策枠（※）								2
	C学士編入	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち地域枠（県内出身者に限る）	3	3	3	3	3	3	3	3

(略)

表17 義務年限終了後の勤務状況

義務年限終了年度	R6		R7	
勤務先	県内	県外	県内	県外
旧地域枠	3		2	
緊急医師確保対策枠	1		1	
地域医療再生枠	1		2	
合計	5		5	

資料：県医療政策課調査

※勤務先は義務勤務満了年度の次年度時点

③ 県内定着を促進するキャリア形成支援

(略)

④ 自治医科大学卒業医師の養成・確保

(略)

⑤ 地域医療に対する理解の促進

(略)

⑥ 地域医療を支える医師確保の促進

表13 山口大学医学部入学定員の推移 (単位：人)

年 度		H18 (2006)	H19 (2007)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H28 (2016)	R2 (2020)	R5 (2023)
定 員 (A+B+C)		95	95	105	114	117	117	117	119
内 訳	A一般入試	75	65	70	66	67	70	65	65
	うち後期日程：地域枠（県内出身者に限る）							3	3
	B推薦入試	10	20	25	38	40	37	42	44
	全国枠	10	10	10	10	10	7	5	5
	地域枠（県内出身者に限る）		10	10	15	15	15	22	22
	緊急医師確保対策枠（※）			5	5	5	5	5	5
	地域医療再生枠（※）				8	10	10	10	10
	重点医師確保対策枠（※）								2
	C学士編入	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち地域枠（県内出身者に限る）	3	3	3	3	3	3	3	3

(略)

(新規)

(新規)

(新規)

③ 県内定着を促進するキャリア形成支援

(略)

④ 自治医科大学卒業医師の養成・確保

(略)

⑤ 地域医療に対する理解の促進

(略)

⑥ 地域医療を支える医師確保の促進

- (略)
- ⑦ 地域医療を支える意識の醸成
- (略)
- ⑧ 中堅・シニア世代医師の活躍の促進
- ドクターバンクやまぐち(医師無料職業紹介事業)を活用し、意欲ある中堅・シニア世代医師がその経験等を生かして働き続けられるよう、医療機関とのマッチングを促進します。
- また、リカレント教育に関する県内の取組状況を把握し、医師や医療機関に周知を行うなどにより、総合的な診療能力を有する医師の養成を推進します。
- (3) 臨床研修医の確保
- ① 研修推進体制の整備
- (略)
- ② 臨床研修病院における研修実施体制の充実
- (略)
- ③ 臨床研修医の確保
- (略)
- ④ 広域連携型プログラム
- 専門研修合同説明会等を通じ、広域連携型プログラムで受け入れた医師多数県の医師の県内への定着を図ります。
- (4) 専門医の養成
- ① 専門研修推進体制の整備・充実
- (略)
- ② 総合診療医の養成・確保
- (略)

表18 総合診療専門研修プログラム専攻医数

指標	現状値 (基準値)	実績	目標値
<u>総合診療専門研修プログラム専攻医数(累計)</u>	<u>28人</u> (R5年度)	<u>35人</u> (R8年度)	<u>46人</u> (R11年度)

※保健医療計画から再掲

- (5) 医業承継の推進
- (略)
- (6) 勤務環境の整備

- (略)
- ⑦ 地域医療を支える意識の醸成
- (略)
- ⑧ 高齢医師の活躍の促進
- ドクターバンクやまぐち(医師無料職業紹介事業)を活用し、意欲ある高齢医師がその経験等を生かして働き続けられるよう、医療機関とのマッチングを促進します。
- (3) 臨床研修医の確保
- ① 研修推進体制の整備
- (略)
- ② 臨床研修病院における研修実施体制の充実
- (略)
- ③ 臨床研修医の確保
- (略)
- (新規)
- (新規)
- (4) 専門医の養成
- ① 専門研修推進体制の整備・充実
- (略)
- ② 総合診療医の養成・確保
- (略)
- (新規)
- (新規)
- (5) 医業承継の推進
- (略)
- (6) 勤務環境の整備

改正案

① 勤務医の勤務環境の改善

令和6年(2024年)4月に適用された、医師の時間外・休日労働時間の上限規制を踏まえ、勤務医の処遇改善や、仕事と家庭の両立ができる勤務環境の整備に取り組む医療機関への助成を行い、その取組を促進します。

(略)

② 子育て世代の医師のキャリア形成支援

(略)

また、県医師会が運営する「保育サポーターバンク」との連携による育児支援を行い、子育て世代医師の離職防止や再就業の促進を図ります。

③ 情報通信技術の活用支援

県内医療機関におけるデジタル技術の活用を支援し、へき地においても安心して医療を受けられる体制の構築を促進します。

また、限られた医療資源を有効に活用するため、医療機関や診療科間の横断的な連携を推進するとともに、遠隔医療等の活用を通じて、へき地における医療提供体制の充実を図ります。

(7) 情報発信等

① 様々な情報媒体を活用した情報発信

(略)

② 県外医師の県内就業の促進

(略)

7 医師偏在是正プラン

今後も一定の定住人口が見込まれるものの、必要な医師が確保できず、人口減少よりも医療機関の減少のスピードの方が早い地域等を「重点医師偏在対策支援区域」と設定した上で、優先的かつ重点的に対策を進めます。

(1) 重点医師偏在対策支援区域

○ 都道府県において、厚生労働省が提示する候補区域を参考としつつ、医師偏在指標、可住地面積あたり医師数、住民の医療機関へのアクセス、診療所医師の高齢化率、地域住民の医療のかかり方、今後の人口動態等を考慮して、地域医療対策協議会及び保険者協議会で協議して選定することとされています。

現行

① 勤務医の勤務環境の改善

令和6年(2024年)4月から適用される、医師の時間外・休日労働時間の上限規制を踏まえ、勤務医の処遇改善や、仕事と家庭の両立ができる勤務環境の整備に取り組む医療機関への助成を行い、その取組を促進します。

(略)

② 子育て世代の医師のキャリア形成支援

(略)

また、県医師会が運営する「保育サポーターバンク」との連携による育児支援を行い、女性医師を中心とした子育て世代医師の離職防止や再就業の促進を図ります。

③ 情報通信技術の活用支援

県内の医療機関におけるデジタル技術活用の加速化を支援し、へき地の医療機関等がサポートを受けられる体制構築を促進します。

(新規)

(7) 情報発信等

① 様々な情報媒体を活用した情報発信

(略)

② 県外医師の県内就業の促進

(略)

(新規)

(新規)

(新規)

(新規)

○ 医師少数区域は、医師の人数、年齢構成、医療ニーズなどを踏まえて、特に医師数が少ないとされており、医師偏在対策の優先度が高いこと、山口県医師確保計画において、医師少数スポットは、医師少数区域と同様に取り扱うこととされていることから、本県では、県医師確保計画における、「医師少数区域」及び「医師少数スポット」を、診療所の承継・開業支援事業、医師派遣を行う派遣元医療機関支援事業、代替医師確保支援事業、勤務・生活環境改善のための施設整備事業に係る重点医師偏在対策支援区域とします。

具体的な地域は、次のとおりとします。

区域区分	区域	
	医療圏	該当区域
①医師少数区域	柳井	柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町全域
	長門	長門市全域
	萩	萩市、阿武町全域
②医師少数スポット	岩国	岩国市における旧美和町地域
	宇部・小野田	美祢市全域
	下関	下関市における旧豊田町地域及び旧豊浦町地域

○ 今後、新たな支援事業を開始する際は、上記の考えに則り、地域医療対策協議会及び保険者協議会で協議して選定します。

(2) 支援対象医療機関

○ 重点医師偏在対策支援区域において支援を行う対象医療機関を選定するにあたっては、今後策定する新たな地域医療構想を踏まえ、地理的条件等を考慮しながら、特に支援を行う必要がある医療機関を選定し、地域医療対策協議会及び保険者協議会で合意を得ることとします。

(3) 必要医師数

○ 本県では、「医師少数区域」及び「医師少数スポット」を重点医師偏在対策支援区域としていることから、重点医師偏在対策支援区域における必要医師数については、4 (2) 及び(5)に掲げる医師確保の方針並びに 5 に掲げる目標医師数と同様とします。

○ このため、両区域の医師確保の方針と同様に、当該区域内の医師の増加を図ります。

(4) 施策

○ 医師が意欲をもって勤務できる環境等を整備するために、経済的インセンティブに係る事業を通じて、重点医師偏在対策支援区域における医師の確保に継続的に取り組みます。

(略)

(1) 産科医

① 現状

- 令和6年(2024年) 医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の産婦人科・産科・婦人科医師の実人員は123人で、15～49歳女子人口10万人当たりの医師数は、58.5人であり、全国平均の59.5人をやや下回っています。
- また、医師の性別や年齢を考慮した労働時間から厚生労働省が算出した標準化分娩取扱医師数(注)は、96.6人となっており、実人員より少ない評価となっています。

(略)

表19 産科医に関連する基礎データ(令和6年(2024年)12月末現在)

	周産期医療圏		岩国・柳井		周南	山口・防府・萩		宇部・小野田	下関・長門		山口県(計)
	二次保健医療圏		岩国	柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田	下関	長門	
医師数	13人		23人		29人	35人		23人			123人
	10人		3人	23人	27人	2人	35人	20人	3人		
性別	7人		17人		18人	21人		15人			78人
	6人		6人	11人	14人	8人					45人
年代別	2人		2人	1人	3人	2人					10人
	3人		3人	3人	14人	4人					27人
			4人	6人	4人	6人					20人
			6人	7人	6人	2人					21人
	4人		4人	8人	6人	4人					26人
	2人		3人	4人	2人	5人					16人
	2人		1人								3人
平均年齢		61.1歳	43.6歳	54.1歳	55.5歳	62.9歳	46.3歳	55.5歳	34.7歳		52.4歳
施設別	7人		21人		19人	28人		14人			89人
	6人		2人	10人	7人	9人					34人
15-49歳女性人口※	29,348人		37,615人		61,255人	38,722人		42,766人			210,000人
	20,289人		9,054人	37,615人	55,781人	5,474人	38,722人	38,982人	3,784人		
15-49歳女性人口 10万人当たり医師数	44.3人		61.1人		47.3人	90.4人		53.8人			58.5人
	49.3人		33.1人	61.1人	48.4人	36.5人	90.4人	51.3人	79.3人		
1人の師が「地域の 15-49歳女性人口	2,257人		1,635人		2,112人	1,106人		1,859人			1,707人
	2,029人		3,018人	1,635人	2,066人	2,737人	1,106人	1,949人	1,261人		
標準化医師数		8.7人	19.6人	19.6人	29.7人	19.1人					96.6人

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の調査票情報を利用し独自集計

(略)

(1) 産科医

① 現状

- 令和2年(2020年) 医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の産婦人科・産科・婦人科医師の実人員は131人で、15～49歳女子人口10万人当たりの医師数は、56.3人であり、全国平均の54.7人をやや上回っています。
- また、医師の性別や年齢を考慮した労働時間から厚生労働省が算出した標準化分娩取扱医師数(注)は、99人となっており、実人員より少ない評価となっています。

(略)

表14 産科医に関連する基礎データ(令和2年(2020年)12月末現在)

	周産期医療圏		岩国・柳井		周南	山口・防府・萩		宇部・小野田	下関・長門		山口県(計)
	二次保健医療圏		岩国	柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田	下関	長門	
医師数	15人		25人		32人	37人		22人			131人
	11人		4人	25人	30人	2人	37人	20人	2人		
性別	12人		17人		18人	25人		16人			88人
	3人		8人	14人	12人	6人					43人
年代別	1人			3人	4人	1人					9人
	2人		4人	4人	8人	3人					21人
	1人		6人	8人	8人	5人					28人
	2人		6人	8人	8人	2人					26人
	4人		3人	6人	6人	9人					28人
	2人		4人	3人		2人					11人
	3人		2人		3人						8人
平均年齢		60.3歳	62.2歳	57.1歳	50.1歳	58.9歳	49.6歳	53.5歳	58.9歳		53.4歳
施設別	7人		20人		21人	26人		13人			87人
	8人		5人	11人	11人	9人					44人
15-49歳女性人口 (※20.10国勢調査不詳補完)	33,547人		41,956人		66,282人	42,924人		48,110人			232,819人
	22,917人		10,630人	41,956人	59,855人	6,447人	42,924人	43,659人	4,451人		
15-49歳女性人口 10万人当たり医師数	44.7人		59.6人		48.3人	86.2人		45.7人			56.3人
	48.0人		37.6人	59.6人	50.1人	31.0人	86.2人	45.8人	44.9人		
1人の師が「地域の 15-49歳女性人口	2,236人		1,678人		2,071人	1,160人		2,187人			1,777人
	2,083人		2,658人	1,678人	1,995人	3,224人	1,160人	2,183人	2,226人		
標準化医師数		9人	20人	22人	30人	18人					99人

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計」厚生労働省他

(新規)

※山口県計の15-49女性人口及び15-49女性人口10万人当たり医師数は、総務省統計局「人口推計」、各二次保健医療圏の15-49女性人口は山口県統計分析課「山口県人口移動統計調査」(いずれも2024年10月1日現在)

② 相対的産科医師少数区域等

ア 産科医の医師偏在指標

本県の分娩取扱医師偏在指標は12.6となっており、全国平均の13.4を0.8ポイント下回っています。

(略)

表20 分娩取扱医師偏在指標

周産期医療圏	岩国・柳井		周南	山口・防府・萩		宇部・小野田	下関・長門		山口県(計)
	岩国	柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田	下関	長門	
二次保健医療圏									
分娩取扱医師偏在指標	17.2		10.5	9.2		17.0	13.4		12.6
全国順位	57位		181位	208位		58位	117位		30位
全国順位の状況	中位		下位	下位		上位	中位		中位
(参考)									
実医師数	13人		23人	29人		35人	23人		123人
	10人	3人	23人	27人	2人	35人	20人	3人	
標準化医師数	8.7人		19.6人	19.6人		29.7人	19.1人		96.6人

資料：厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

イ 相対的産科医師少数区域等

- 本県は、分娩取扱医師の偏在指標が下位33.3%に該当する「相対的産科医師少数県」ではありませんが、全国順位は30位であり、全国平均を下回ることから、「相対的産科医師少数県に準じる県」として取り扱うこととします。
- 周南周産期医療圏及び山口・防府、萩周産期医療圏は、分娩取扱医師の偏在指標が下位33.3%に該当することから、「相対的産科医師少数区域」とします。

(削除)

(略)

ウ 産科医確保の方針

(略)

(新規)

② 相対的産科医師少数区域等

ア 産科医の医師偏在指標

本県の分娩取扱医師偏在指標は9.5となっており、全国平均の10.5を1.0ポイント下回っています。

(略)

表15 分娩取扱医師偏在指標

周産期医療圏	岩国・柳井		周南	山口・防府・萩		宇部・小野田	下関・長門		山口県(計)
	岩国	柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田	下関	長門	
二次保健医療圏									
分娩取扱医師偏在指標	6.1		7.8	9.9		15.5	8.3		9.5
全国順位	231位		173位	106位		32位	156位		31位
全国順位の状況	下位		中位	中位		上位	中位		中位
(参考)									
実医師数	15人		25人	32人		37人	22人		131人
	11人	4人	25人	30人	2人	37人	20人	2人	131人
標準化医師数	9人		20人	22人		30人	18人		99人

注)周産期医療圏の全国順位は、分娩実績のある28医療圏を数値の高い順に並べたもので、国によると、179位以下が、下位33.3%に該当するとされている。

資料：厚生労働省提供データ(令和5年(2023年))

イ 相対的産科医師少数区域等

- 本県は、分娩取扱医師の偏在指標が下位33.3%に該当する「相対的産科医師少数県」ではありませんが、全国順位は31位であり、全国平均を1ポイント以上下回ることから、「相対的産科医師少数県に準じる県」として取り扱うこととします。
- 岩国、柳井周産期医療圏は、分娩取扱医師の偏在指標が下位33.3%に該当することから、「相対的産科医師少数区域」とします。
- 周南周産期医療圏、山口・防府、萩周産期医療圏及び下関、長門周産期医療圏は、分娩取扱医師の偏在指標は下位33.3%に該当していないものの、全国平均を下回ることから、「相対的産科医師少数区域に準じる区域」として取り扱うこととします。

(略)

ウ 産科医確保の方針

(略)

改正案

- 「相対的産科医師少数区域」においても、各圏域内の産婦人科、産科、婦人科の医師数の増加を図ります。

(略)

③ 施策

- 医師修学資金の特定診療科枠に産婦人科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組を通じ、周産期医療を担う医師の養成・確保に努めます。

(略)

表21 勤務開始した地域枠医師の診療科

(令和8年(2026年)4月時点)

(単位：人)

区分	緊急医師確保対策枠	地域医療再生枠	特定診療科枠	旧地域枠	計
産婦人科	<u>1</u>	3	<u>11</u>	2	<u>17</u>

(略)

(2) 小児科医

① 現状

- 令和6年(2024年)医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の小児科医師の実人員は165人で、年少人口(15歳未満)10万人当たりの医師数は119.6人であり、全国平均の130.2人を下回っています。
- また、医師の性別や年齢を考慮した労働時間から厚生労働省が算出した標準化小児科医師数は、159.1人となっており、実人員より少ない評価となっています。

現行

- 「相対的産科医師少数区域」及び「相対的産科医師少数区域に準じる区域」においても、各圏域内の産婦人科、産科、婦人科の医師数の増加を図ります。

(略)

③ 施策

- 医師修学資金の特定診療科枠に産婦人科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組等を通じ、周産期医療を担う医師の養成・確保に努めます。

(略)

表16 勤務開始した地域枠医師の診療科

(令和5年(2023年)4月時点)

(単位：人)

区 分	緊急医師確保対策枠	地域医療再生枠	特定診療科枠	旧地域枠	計
産婦人科	<u>0</u>	3	<u>9</u>	2	<u>14</u>

(略)

(2) 小児科医

① 現状

- 令和2年(2020年)医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)によると、本県の小児科医師の実人員は183人で、年少人口(15歳未満)10万人当たりの医師数は119人であり、全国平均の119.7人をやや下回っています。
- また、医師の性別や年齢を考慮した労働時間から厚生労働省が算出した標準化小児科医師数は、177人となっており、実人員より少ない評価となっています。

表22 小児科医に関連する基礎データ(令和6年(2024年)12月末現在)

小児医療圏		岩国		柳井・周南		山口・防府・萩		宇部・小野田		下関・長門		山口県(計)		
二次保健医療圏		岩国		柳井		山口・防府		宇部・小野田		下関				
医師数		12人		31人		43人		50人		29人		165人		
		12人		3人		39人		4人		50人				
性別	男性	11人		24人		33人		34人		21人		123人		
	女性	1人		7人		10人		16人		8人		42人		
年代別	20代	1人		2人		2人		4人		1人		10人		
	30代	3人		2人		2人		12人		4人		21人		
	40代	3人		4人		8人		16人		2人		33人		
	50代			9人		13人		5人		9人		36人		
	60代	2人		6人		7人		6人		4人		25人		
	70代	3人		9人		9人		4人		9人		34人		
	80代以上			1人		2人		3人				6人		
	平均年齢	52.0歳		65.0歳		59.6歳		59.3歳		47.9歳		49.0歳	58.1歳	59.2歳
施設別	病院医師	5人		16人		15人		36人		11人		83人		
	診療所医師	7人		15人		28人		14人		18人		82人		
年少人口※		13,794人		32,495人		39,463人		25,187人		27,467人		138,000人		
		13,794人		5,906人		26,589人		36,062人		3,401人			25,187人	24,993人
年少人口10万人当たり医師数		87.0人		95.4人		109.0人		198.5人		105.6人		119.6人		
		87.0人		50.8人		105.3人		108.1人		117.6人			198.5人	104.0人
1人の医師が担う地域の年少人口		1,150人		1,048人		918人		504人		947人		836人		
		1,150人		1,969人		950人		925人		850人			504人	961人
標準化医師数		12.5人		29.1人		42.2人		48.3人		27.1人		159.1人		

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師統計」の調査票情報を利用し独自集計

※山口県計の年少人口及び年少人口10万人当たり医師数は、総務省統計局「人口推計」、各二次保健医療圏の年少人口は山口県統計分析課「山口県人口移動統計調査」(いずれも2024年10月1日現在)

② 相対的小児科医師少数区域等

ア 小児科医の医師偏在指標

本県の小児科医師偏在指標は116.5となっており、全国平均の126.0を9.5ポイント下回っています。

(略)

表17 小児科医に関連する基礎データ(令和2年(2020年)12月末現在)

小児医療圏		岩国	柳井、周南		山口・防府・萩		宇部・小野田	下関・長門		山口県(計)
二次保健医療圏		岩国	柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田	下関	長門	
医師数		17人	35人		46人		53人	32人		183人
		17人	5人	30人	42人	4人	53人	29人	3人	
性別	男性	12人	29人		33人		35人	23人		132人
	女性	5人	6人		13人		18人	9人		51人
年代別	20代	2人	1人		1人		2人	1人		7人
	30代	3人	3人		5人		18人	2人		31人
	40代	3人	4人		12人		14人	5人		38人
	50代	2人	11人		10人		5人	9人		37人
	60代	3人	9人		10人		5人	9人		36人
	70代	2人	7人		6人		8人	6人		29人
	80代以上	2人			2人		1人			5人
平均年齢		54.0歳	60.8歳	58.9歳	57.2歳	44.9歳	48.7歳	56.9歳	58.2歳	54.5歳
施設別	病院医師	8人	19人		17人		36人	13人		93人
	診療所医師	9人	16人		29人		17人	19人		90人
年少人口 (2020.10国勢調査不詳補充)		15,532人	36,003人		43,039人		28,031人	31,233人		153,838人
		15,532人	6,973人	29,030人	38,862人	4,177人	28,031人	28,194人	3,039人	
年少人口10万人当たり医師数		109.5人	97.2人		106.9人		189.1人	102.5人		119.0人
		109.5人	71.7人	103.3人	108.1人	95.8人	189.1人	102.9人	98.7人	
1人の医師が担う地域の年少人口		914人	1,029人		936人		529人	976人		841人
		914人	1,395人	968人	925人	1,044人	529人	972人	1,013人	
標準化医師数		16人	34人		45人		51人	31人		177人

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計」厚生労働省他

(新規)

(新規)

② 相対的小児科医師少数区域等

ア 小児科医の医師偏在指標

本県の小児科医師偏在指標は115.0となっており、全国平均の115.1を0.1ポイント下回っています。

(略)

表23 小児科医師偏在指標

小児医療圏	岩国		柳井、周南		山口・防府・萩		宇部・小野田		下関・長門	山口県(計)
二次保健医療圏	岩国		柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田		下関	
医師偏在指標	106.1		88.3		112.1		172.3		102.4	116.5
全国順位	194位		250位		169位		27位		206位	36位
全国順位の状況	中位		下位		中位		上位		下位	下位
参考)										
実医師数	12人		31人		43人		50人		29人	165人
	12人		3人	28人	39人	4人	50人		26人	3人
標準化医師数	12.5人		29.1人		42.2人		48.3人		27.1人	159.1人

資料：厚生労働省提供データ(令和8年(2026年))

イ 相対的小児科医師少数区域

- 本県は、小児科医師偏在指標が下位33.3%に該当することから「相対的小児科医師少数県」とします。
- 柳井、周南小児医療圏及び下関、長門小児医療圏は、小児科医師の偏在指標が下位33.3%に該当することから、「相対的小児科医師少数区域」とします。
- 岩国小児医療圏及び山口・防府、萩小児医療圏は、小児科医師の偏在指標は下位33.3%に該当していないものの、全国平均を下回ることから、「相対的小児科医師少数区域に準じる区域」として取り扱うこととします。

(略)

ウ 小児科医確保の方針

(略)

(削除)

- 上記以外の宇部・小野田小児医療圏においては、地域の小児医療提供体制の確保に向け、必要な小児科の医師の確保に取り組むこととし、特に、小児科の医師派遣の中核的な役割を果たしている山口大学医学部附属病院があることから、引き続き、県内の医師派遣機能の強化に向けた取組を促進します。

③ 施策

表18 小児科医師偏在指標

小児医療圏	岩国		柳井、周南		山口・防府・萩		宇部・小野田		下関・長門	山口県(計)
二次保健医療圏	岩国		柳井	周南	山口・防府	萩	宇部・小野田		下関	
医師偏在指標	115.8		90.3		112.4		160.7		101.5	115.0
全国順位	116位		212位		124位		19位		167位	25位
全国順位の状況	中位		下位		中位		上位		中位	中位
参考)										
実医師数	17人		35人		46人		53人		32人	183人
	17人		5人	30人	42人	4人	53人		29人	3人
標準化医師数	16人		34人		45人		51人		31人	177人

注)小児医療圏の全国順位は、303医療圏を数値の高い順に並べたもので、国によると、202位以下が、下位33.3%に該当するとされている。

資料：厚生労働省提供データ(令和5年(2023年))

イ 相対的小児科医師少数区域

- 本県は、小児科医師偏在指標が下位33.3%に該当する「相対的小児科医師少数県」ではありませんが、全国順位は25位であり、全国平均を下回ることから、「相対的小児科医師少数県に準じる県」として取り扱うこととします。
- 柳井、周南小児医療圏は、小児科医師の偏在指標が下位33.3%に該当することから、「相対的小児科医師少数区域」とします。
- 山口・防府、萩小児医療圏及び下関、長門小児医療圏は、小児科医師の偏在指標は下位33.3%に該当していないものの、全国平均を下回ることから、「相対的小児科医師少数区域に準じる区域」として取り扱うこととします。

(略)

ウ 小児科医確保の方針

(略)

- 上記以外の岩国小児医療圏、宇部・小野田小児医療圏においては、地域の小児医療提供体制の確保に向け、必要な小児科の医師の確保に取り組むこととします。
- 特に、宇部・小野田小児医療圏においては、小児科の医師派遣の中核的な役割を果たしている山口大学医学部附属病院があることから、引き続き、県内の医師派遣機能の強化に向けた取組を促進します。

③ 施策

改正案

- 医師修学資金の特定診療科枠に小児科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組を通じ、小児医療を担う医師の養成・確保に努めます。

(略)

表24 勤務開始した地域枠医師の診療科

(令和8年(2026年)4月時点)

(単位：人)

区分	緊急医師確保対策枠	地域医療再生枠	特定診療科枠	旧地域枠	計
小児科	<u>5</u>	<u>5</u>	<u>18</u>	0	<u>28</u>

(略)

現行

- 医師修学資金の特定診療科枠に小児科を指定し、修学資金の貸与や県地域医療支援センターにおけるキャリア形成支援等の取組等を通じ、小児医療を担う医師の養成・確保に努めます。

(略)

表19 勤務開始した地域枠医師の診療科

(令和5年(2023年)4月時点)

(単位：人)

区 分	緊急医師確保対策枠	地域医療再生枠	特定診療科枠	旧地域枠	計
小児科	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>16</u>	0	<u>23</u>

(略)